

# Members

## 出演者リスト

### マーキュリー・グリーン・クラブ

T 1 :	石林 紀四郎	小澤 莊二	鈴木 重雄	田口 和義	中尾 丈夫
	中山 光雄	二宮 洋二	久内 莊一郎	藤原 浩	益子 正稔
	丸山 達雄	吉岡 省吾			
T 2 :	幾田 雅彦	池田 信彦	大畑 道夫	金井 洋	亀井 滋
	小室 滋	篠崎 博	鈴木 誠司	田村 啓一郎	長尾 明信
	平野 真	松田 次郎	宮内 隆造	森田 信市	
B 1 :	石原 隆	井上 清彦	片山 修	加藤 孝雄	黒田 修一
	高倉 勇	武田 三千男	立川 昭夫	徳山 巖	永井 宏
B 2 :	有馬 賢次	泉原 昭夫	魁生 勝祐	下村 肇	竹内 克広
	中島 靖之	橋本 民生	府川 朝次	藤原 尚	村本 卓生



第9回定期演奏会

藤本 淳三 星加 雄一郎 光瀬 靖彦  
 谷河 義久 野老 正明 富田 勇一  
 矢口 和彦

### 南漣会合唱団

T 1 :	尾崎 納	斎藤 三朗	新 栄一郎	杉方 順二	月川 兆
	長田 幸一郎	福家 伸治	福野 成雄	古川 武士	
T 2 :	今村 肇	大内 一	白井 清貴	白石 太良	戸田 勝
	藤田 徹夫	松本 涼	丸尾 嘉重	宮内 泰	村山 徹郎
	山田 稔	米田 直也			
B 1 :	石井 欽三	石川 健夫	石原 潤一	太田 一忠	川尻 康平
	瀧井 尚志	谷岡 昇	辻 秀郎	服部 栄治	松田 桂一郎
	山内 莊作	横田 卓朗			
B 2 :	赤崎 弘平	稲田 智史	今道 隆夫	上木 喜昌	小倉 裕
	名和 秀記	三栖 隆	宮田 潤	牟田 岑男	森田 清



南漣会合唱団演奏会 2012

演奏会 2012

鎌木 武男 佐々木 康弘 下伊豆 哲央  
 安井 永 和田 昭夫

### 東京南漣会合唱団

T 1 :	天野 英樹	井上 英康	岡本 直久	鎌田 禮章	鈴木 重雄
	田和 達夫	原田 佳晃	松波 謙至		
T 2 :	岡田 皓三	黒田 俊之	小林 庄次郎	里山 泰志	鶴田 観治郎
	宮内 隆造	森谷 泰明			
B 1 :	今井 啓太	梶谷 俊一	川上 彰一	木田 豊	田中 利治
	徳山 巖	永田 利地	野津 直樹	宗像 弘信	柳原 恒久
B 2 :	井上 嘉雄	上村 正昭	掛谷 正宏	北野 友一	諏訪部 和彦
	中川 清	中川 博義	平手 彰	柚木 裕文	



第4回定期演奏会

### 六甲男声合唱団

T 1 :	小林 和生	佐々木 英洋	正井 春吾	松岡 茂雄	鷲尾 隆三
T 2 :	赤司 健	大隅 国雄	河原 達	桐ヶ窪 卓	肥塚 禎夫
	寺井 洋一	花岡 亜光	和久井 仁		
B 1 :	浅野 洋	伊原 吉之助	浮田 順一	大谷 遷	岡澤 徹
	加輪上 敏彦	佐々木 道治	丹下 豊吉	深井 邦男	堀内 文義
	前田 豊治	松井 嘉和	山本 和洋	山本 稔	
B 2 :	東 尚良	石井 陽一	井上 和雄	岸田 賢一郎	田中 安夫
	土居 宗一	長央 徳太郎	堀尾 和也	増川 真澄	吉田 哲朗



定期演奏会 2012

### 東京六甲男声合唱団

T 1 :	進藤 宏	鈴木 重雄	竹本 鉄三	橋田 晋治	藤田 善弘
	丸山 達雄	宮元 芳樹	三好和通		
T 2 :	池田 信彦	亀田 卓一	岸本 正義	小室 滋	佐名手 寿一
	宮内 隆造	村瀬 宏	山田 正則	吉澤 聡一	
B 1 :	青山 徳次	井上 清彦	静川 靖敏	高倉 勇	團野 廣一
	藤本 淳三	溝口 正平			
B 2 :	伊藤 正昭	大隅 孝二	高橋 榮輔	滝沢 章三	竹内 克広
	谷河 義久	光瀬 靖彦	矢内 忠雄		



定期演奏会 2012

## 一緒に歌いませんか？

マーキュリー・グリーン・クラブ

E-mail: ikeda-gf@jcom.home.ne.jp k-inoue3@yd5.so-net.ne.jp  
 Homepage: <http://jfn.josuikai.net/circle/mgc/>

南漣会合唱団

E-mail: moonriver@kcat.zaq.ne.jp

東京南漣会合唱団

E-mail: HQJ07112@nifty.com Homepage: <http://www.osaka-cu.com/tnanreikaichor/>

東京六甲男声合唱団

E-mail: k.take20505@jcom.home.ne.jp

Homepage: <http://home.kobe-u.com/tokyo/hp/tokyorokkoudansei/daninbosyu.html>

六甲男声合唱団

E-mail: cmkilly@leto.eonet.ne.jp Homepage: <http://rokkomcinfo.web.fc2.com/index>

# 第6回 旧三商大OB男声合唱団 交歓演奏会

マーキュリー・グリーン・クラブ (一橋大学OB合唱団)

南漣会合唱団: 東京南漣会合唱団 (大阪市立大学OB合唱団)

六甲男声合唱団: 東京六甲男声合唱団 (神戸大学OB合唱団)

2013年11月30日(土)  
神戸文化ホール・大ホール

主催: 六甲男声合唱団

後援: (公財) 神戸市民文化振興財団



# Welcome Message ごあいさつ

ようこそお越し下さいました。

本日は、その昔「三商大」と呼ばれ学術、スポーツ、文化などの各分野で切磋琢磨してきた三つの大学で、それぞれ男声合唱を趣味として青春を謳歌したオールドボーイズを中心とした合唱交歓の集いです。2003年に第1回を東京調布で、その後隔年に大阪、神戸と巡り、早いもので2巡目最後の神戸開催、第6回交歓演奏会の運びとなりました。

昨今は現役大学生の間で男声合唱に人気が無く男声合唱団を組織できない大学があり、現役学生達による旧三商大交歓会が開催できない状況ですが、私どもOBの交歓会は参加人数も年ごとに増え心強い限りです。尤もご覧のとおり加齢は否めませんが、心は青春時代そのままに、声の競演をしたいと思っております。それが饗宴になればといえは思い上がりすぎでしょうか。

合同演奏は180人超で生誕200年のワーグナーの楽劇から、これぞ男声合唱というところをお聞かせできたらと張り切っております。各団の曲目は、普段は独唱でしか聴けない珠玉のカンツォーネ、練熟の邦人作曲家による現代曲、古典的名曲ではあるものの混声合唱曲に比べ演奏されることの少ない男声によるレクイエムと、極めて変化に富んだ選曲となりました。

最後までごゆっくりお楽しみ頂ければ幸いです。

本日はありがとうございました。

2013年11月30日

マーキュリー・グリー・クラブ

南濤会合唱団

六甲男声合唱団



旧三商大OB男声合唱団 第5回交歓演奏会 於 大阪国際交流センター 2011.11.27

# Programme プログラム

## マーキュリー・グリー・クラブ (一橋大学OB合唱団)

MGC編曲委嘱作品「カンツォーネの名曲」より

指揮:永井宏 ピアノ:中野マリ

- 1 帰れソレントへ 作詞:G・デ・クルティス 作曲:E・デ・クルティス 編曲:蒔田尚昊
- 2 彼女に告げて 作詞・作曲:ロドルフォ・ファヴロ 編曲:蒔田尚昊
- 3 オ・ソレ・ミオ 作詞:ジョヴァンニ・カプロ 作曲:E・デイ・カプア 編曲:蒔田尚昊
- 4 カタリ・カタリ 作詞:リッカルド・コルディフェロ 作曲:サルヴァトオレ・カルディッロ 編曲:蒔田尚昊
- 5 フニクリ・フニクラ 作詞:ペッピーノ・トゥルコ 作曲:ルイージ・デンツァ 編曲:吉岡弘行

## 南濤会合唱団:東京南濤会合唱団(大阪市立大学OB合唱団)

男声合唱組曲「二度とない人生だから」 作詞:坂村真民 作曲:鈴木憲夫

指揮:山田稔 ピアノ:石幸千照

- 1 念ずれば花ひらく
- 2 花・ねがい
- 3 妻を歌う
- 4 つゆのごとくに
- 5 からっぽ・サラリ
- 6 こおろぎ
- 7 二度とない人生だから

## Intermission

## 六甲男声合唱団:東京六甲男声合唱団(神戸大学OB合唱団)

レクイエム 二短調 作曲:ルイジ・ケルビーニ

指揮:井上和雄 ピアノ:島崎央子

- 1 第一曲 Introitus et Kyrie
- 2 第五曲 Sanctus
- 3 第七曲 Agnus Dei

## 合同演奏

ワーグナー楽劇のなかの合唱曲より

指揮:井上和雄 ピアノ:島崎央子

- 1 “タンホイザー”より「巡礼の合唱」
- 2 “さまよえるオランダ人”より「水夫の合唱」

### マーキュリー・グリーン・クラブ (MGC)

#### MGC 編曲委嘱作品「カンツォーネの名曲」より

カンツォーネはイタリアの大衆歌です。彼らにとっては人生に欠かせない自分の身体の一部のようなものです。その歴史を語る時、まず出て来るのがナポレターナ (ナポリのカンツォーネ) です。

19世紀末から20世紀初頭にかけてレコードが開発された当時、イタリア・カンツォーネは抒情的で美しいナポレターナが中心でした。当時イタリアは政治の貧困で、多くの国民は隣国へ出稼ぎに出たり、遠くはアメリカにまで移民する者も多数いました。祖国を離れた彼らには、祖国イタリアへの郷愁が強く、ナポレターナを愛唱していく内に、瞬間にそれらは全世界に広まっていったのです。

#### ■帰れソレントへ

最初は、ナポリ湾の南端ソレント岬に建つホテルのコマースャル・ソングとして1904年に作曲されましたが・・・、音楽出版社長の意見で歌詞を変え、ソレント岬で恋人を待つ歌となって大成功を収めました。

#### ■彼女に告げて

1930年に作曲されたもので、内気な男が友人を介して告白する切ない恋の想いの歌で、甘美さでは代表的な名作です。

#### ■オ・ソレ・ミオ

カプアが父とロシアに旅行し、オデッサ滞在中に作曲し、帰国後 1898年の歌のコンテストに出品した作品です。その時は2位だったのですが、今ではナポレターナの代名詞のようになっています。

#### ■カトリ・カトリ

メイド・イン・ニューヨークの有名なナポレターナです。アメリカに帰化した二人のナポリ人 コルディフェロ (詩) カルディッロ (作曲) が作り、故郷が生んだ名テノール カルーソーに献呈され、1911年にカーネギー・ホールで初演されました。

#### ■フニクリ・フニクラ

1880年にヴェスヴィオ火山にケーブルカーが敷設され、鉄道会社の依頼で宣伝用に作曲したもので、世界最古のコマースャルソングといわれています。

### 南漣会合唱団：東京南漣会合唱団

#### 男声合唱組曲「二度とない人生だから」

作詞：坂村真民 作曲：鈴木憲夫

作詞の坂村真民(さかむらしんみん)氏は1909年熊本県に生まれ、1931年神官皇学館を卒業後、1934年に朝鮮に渡り帰国後の1946年から1974年まで国語教師として教鞭をとりながら作詞に従事。仏教詩人、癒しの詩人と言われています。1991年には仏教伝道文化賞を受賞、2006年に97才で永眠。

仏教のところで、慈愛に満ちた、深く優しい眼差しで多くの詩を発表しました。代表的な詩のひとつが「二度とない人生だから」です。作曲の鈴木憲夫氏は、坂村氏の詩を、美しいメロディとハーモニーで、「かけがえのない人生への励まし」、「人生の歓び」を合唱組曲として表現しています。

私達は今回の演奏を通して、この組曲のすばらしさを、皆様の心に届けたいと思っています。

終曲の「二度とない人生だから」の詩の一部をご紹介します。

二度とない人生だから 一輪の花にも

無限の愛を そそいでゆこう。

一羽の鳥の声にも 無心の耳を かたむけてゆこう。

二度とない人生だから 一匹のおろぎでも

ふみころさないように ころしてゆこう。

どんなにか よろこぶことだろう。

### 六甲男声合唱団：東京六甲男声合唱団

#### レクイエム 二短調 作曲：ルイジ・ケルビーニ

本日は時間の都合もあり、ケルビーニの「男声合唱とオーケストラのためのレクイエム」二短調から、冒頭の「イントロイトゥス・エット・キリエ」、第五曲「サンクトゥス」、および最後の第七曲「アニュス・デイ」を取り上げました。

男声合唱のためのレクイエムやミサは、リストやグノー、デュオーパなども書いていますが、ほくはケルビーニのレクイエムが群を抜いていると思います。ケルビーニの音楽は晩年のベートーヴェンがこれを高く評価したように、まずはその骨太の構成にあります。ケルビーニの生まれはモーツァルトとベートーヴェンのちょうど中間にあることから分かるように、まさに古典派の中で育ちました。それが彼の音楽の背骨になっていて、彼の音楽はロマン派のように情感の中に溶けてしまうことはありません。しかしながらケルビーニが素晴らしいのは、そういう骨格をもちながらも、真のロマンを表現していることです。

今日演奏する第一曲の「イントロイトゥス・エット・キリエ」は、まず荘重な3拍子で始まります。ゆったりとした低音の旋律は、魂を鎮めると同時に僕らを静かで深い世界に誘います。その序奏で魂を洗われたところに、穏やかでいながら次々と心に染みてくる旋律は、人の死を悼む行為が、悲しみと同時にここに安らぎをもたらすものであることを僕らに教えてくれます。「サンクトゥス」は、「聖なるかな、聖なるかな」と神を晴れやかに賛美しますが、最終曲「アニュス・デイ」は、神の子羊であるイエスに心の平安を呼びかける歌です。それも亡くなった方の死後の世界での平安を祈るものです。慈しみ深いイエスへの呼びかけとして、こころを揺さぶる名曲です。

(井上 和雄)

### 合同演奏

#### ワーグナー楽劇のなかの合唱曲より

三大学OB合唱団の全員による合同ステージにはワーグナーの楽劇のなかから男声合唱曲を二曲とりあげました。大合唱に相応しい豪壮な曲です。

第一曲は楽劇「タンホイザー」より「巡礼の合唱」で主人公のタンホイザーは中世の騎士ですが、愛欲に溺れたタンホイザーは自らの罪深さに気づいてローマへの巡礼の旅に出ます。いくたの苦難を経てローマに着いて教皇の赦しを乞うのですが、あまりの罪深さに赦しが得られず、故郷に帰って来ます。しかし許嫁エリザベートの死を賭した行為によって、最後は天国で結ばれるという話ですが、この「巡礼の合唱」は、エリザベートがタンホイザーの帰りを待つところに巡礼団が帰って来たときに歌うものです。実はその時の一団にはタンホイザーは居なかったのですが、ともかく巡礼の一団が神を称え、その信仰心を歌い上げる壮大さは、ワーグナーならではの官能性さえ感じさせる名曲です。

第二曲は「さまよえるオランダ人」からの「水夫の合唱」です。物語はオランダ人の船長が嵐に遭ったとき、どんな嵐でも乗り切ってみせると豪語したために神の怒りを買って、七年に一度の上陸を許されるものの、その他は永遠に海上をさまよいつつ続けなければならないという呪いを受けます。しかし乙女から純愛を捧げられれば、その呪いは解けるというのです。その七年目にノルウェーの港に来た幽霊船は、土地のノルウェーの船長と出会い、その娘ゼンタとも出会って、彼女の愛を受けるのですが、彼女の恋人の存在を知って再び出航する。それを知ったゼンタは海に身を投げ、その事によってオランダ人船長も呪いを解かれて、永遠の責め苦から死を賜り、二人の恋人は昇天するというものです。

「水夫の合唱」は土地のノルウェー船とオランダ船の水夫が歌うものですが、これから陸に上がって久し振りに一杯やろうという、豪快な歌です。その楽しい歌いっぷりを楽しんでいたければと思います。

(井上 和雄)

## マーキュリー・グリー・クラブ (MGC)

1999年5月、都内恵比寿のスタジオで産声をあげたまだ歴史の浅い(若い?)合唱団です。第1回の演奏会は2000年12月。当初より一橋大学男声合唱団コール・メルクルOBを中心に、旧三商大の仲間や他大学グリーのOBが加わり活発な活動を続けています。他大学出身者は今も増え続け、また最近では当団としては若手の入団も活発化し、現在活動中の団員で60余名となっています。

この間団員・常任指揮者永井宏のタクトのもとで、名ピアニスト中野マリ先生に支えられ、「一流の音楽集団・男声合唱」を目指し合唱の技術向上に努めてきました。また客演指揮者として荒谷俊治氏(前日本指揮者協会会長)、田中信昭氏(東京混声合唱団桂冠指揮者)、ヴォイストレーナーとして伊藤純氏(バス、二期会会員)と一流プロ音楽家の指導

を受け、音楽に磨きを掛けています。これまで9回の定期演奏会、5回の海外演奏旅行(南仏、南独、北イタリア、英国、オーストリア)、5回の旧三商大OB交歓演奏会、津田塾大OGゼンガーフェスト(女声)とのジョイント公演(2回)、日生劇場・シアターピース(柴田南雄没後10年記念)参加、福祉施設への慰問演奏会等々、数多くのステージを重ねてきました。レパートリーは、スペイン、ロシア、イタリア、オーストリア、ドイツ、アメリカ等海外の名曲から、国内では高田三郎、清水脩、林光、三木稔、多田武彦、間宮芳生、一柳慧、西村朗、三善晃、石井勲と多彩な作曲家の作品に幅広くチャレンジしています。

平均年齢70歳超のメンバーですが、元気一杯、週一回の「練習+アフター飲み会」を楽しみ、親睦を深めています。



[指揮] 永井宏(ながいひろし)

マーキュリー・グリー・クラブ常任指揮者

一橋大学卒業。在学時代一橋大学男声合唱団コール・メルクル指揮者。指揮法を荒谷俊治氏(前日本指揮者協会会長)、故浜田徳昭氏に師事。ピオラを東義道氏に師事。アマチュアオーケストラや合唱団の指導に豊かな経験を持つ。コールアネモネ常任指揮者。三井住友海上管弦楽団名誉指揮者。



[ピアノ] 中野マリ(なかのまり)

桐朋学園大学ピアノ科卒業。お茶の水女子大学大学院修士課程修了(演奏学)。

西尾悠美子、宮本陶、遠藤秀一郎の各氏に師事。東京交響楽団などオーケストラとピアノ協奏曲の共演。アメリカ・ペンシルバニア州の音楽祭、中国音楽家協会の招聘による北京、成都、瀋陽でのリサイタルが好評を得た。埼玉学園大学、川口短期大学非常勤講師。2000年よりマーキュリー・グリー・クラブのピアニスト。

## 南澁会合唱団：東京南澁会合唱団

本日は、大阪と東京、そして現役の大阪市立大学グリーのメンバーも加わった総勢80人の南澁会合同ステージです。イヤー 最高の気分ですね！ さて、大阪では土曜日になると、約40名の40歳代から80歳代の若者たちが集まり、歌や飲み会で大いに盛り上がります。男だけというのが唯一の難点ですが、メンバーの生き生きとした笑顔を見ると、むしろ長所かもしれません。男同士の友情と無礼講に勝る活力剤はないようです。

南澁会(なんれいかい)という団の名前は大阪市立大学が、澁(みおつくし)を市章とする大阪市の最南端に位置するところに由来しています。南澁会合唱団は、1940年に大阪商科大学(現 大阪市立大学)グリークラブ(男声合唱団)とそのOBによって誕生し、その年に第1回演奏会を開きました。

その直後の大戦勃発、終戦による混乱などの困難な時期

を乗り越え、1950年代から本格的な活動期に入り、1980年ごろからは、隔年の定期演奏会を開催しています。また、現在では、OBだけでなく、多くの合唱愛好者にも参加していただけるようになりました。この演奏会後は、来年の第20回定期演奏会開催に向けての猛練習が待っています。

東京南澁会合唱団は、2003年5月に南澁会の会員で東京周辺に在住する有志が集まって設立されました。発足当時のメンバーは10数名でしたが、隔年開催の定期演奏会毎に団員が増え、現在では休団中のメンバーも含め約40名の団員を擁するまでになりました。定期練習は月2回ですが、今年度からは初めて外部指揮者も招聘し、来年11月2日に浜離宮「朝日ホール」で開催する創立10周年記念第5回定期演奏会へ向け練習に励んでいるところです。



[指揮] 山田稔(やまだみのる)

大阪府立桜塚高校 音楽部指揮者を経て、大阪市立大学グリークラブ学生指揮者。昭和43年法学部卒業。卒業後は、豊中混声合唱団、阪急東宝グループ男声合唱団で、指揮・合唱活動。平成18年から南澁会合唱団 指揮者を勤める。大中 恩、磯部 俊、高田三朗など詩情あふれる合唱音楽を愛し、日本の合唱組曲、歌謡曲フォークのアレンジ、ミュージカルなど本格派から親しみやすい曲まで、多彩な合唱作りに取り組む。好きな言葉は「心で歌う」。



[ピアノ] 石幸千照(いしこうちあき)

大阪芸術大学演奏学科卒業、同大学芸術専攻科修了。岡坂恭子、U・シュニー、ベルガー、平井令奈の各氏に師事。2005年関西フィルハーモニーと協演。2006年ロシア・サンクトペテルブルグにおいて国立アカデミーオーケストラと協演、好評を博す。現在、関西女子短期大学非常勤講師、NHK合唱講座ピアニスト、ヤマハ音楽教室講師。南澁会合唱団他、多数の合唱団、声楽や器楽の伴奏者としても活躍している。フェニー・メンデルスゾーン・クラブ大阪、全日本ピアノ指導者協会会員

## 六甲男声合唱団：東京六甲男声合唱団

1954年1月に誕生。その年卒業を間近にしたグリーメン有志が生みの親です。名前は母校が六甲の山麓にあることに由来します。来年2014年には還暦を迎えることになります。人生60年は昨今さして珍しいことではなくなりましたが、私どものような団体では遥か来つものかなの感慨を禁じえません。団の存廢の危機がありました。60年代には練習出席人数確保が極めて困難となりました。理由は卒業生の多くが企業戦士で、日本経済の高度成長期に当たり職場の超多忙や、転勤やらの事情に翻弄され、合唱どころではなくなったからです。67年頃には活動休止のやむなきに至りました。それでも77年には復活しほそほそながら活動を再開しました。81年に始まったANCORの会演奏会では初回から主要メンバーとして参加しております。94年に創立40周年記念定演を開催したところから活動は比較的安定し順調な回路にのることができました。当団の特徴は音楽監督の井上自らが発声指導をする

ことによって、声作りと音楽作りとが有機的に一貫した方針で実践されていることだと自負しております。来年2014年11月29日には創立60周年記念定期演奏会を開催する予定で、本日演奏するケルビーニのレクイエムをオーケストラと共演します。

東京六甲男声合唱団は、2002年6月、神戸大学グリークラブ在京OB会の30数名によって結成されましたが、爾来門戸を広く開放して他大学OBをも積極的に迎え、今やグリーOB以外のメンバーは、30%を超えんとするまでに広がっております。2006年4月以来、2年毎に定期演奏会を開催しておりますが、来年4月には、第5回定期演奏会を杉並公会堂にて行います。毎週火曜日夜、ハードな練習とその後の杯を片手に音楽談義することをこよなく愛する「永遠の青年」グループです。



[指揮] 井上和雄(いのうえかずお)

六甲男声合唱団音楽監督兼指揮者、女声合唱団クールフレール指揮者。著書に『モーツァルト 心の軌跡』(サントリー学芸賞)、『ベートーヴェン 闘いの軌跡』、『ハイドン ロマンの軌跡』、『シューベルトとシューマン〜青春の軌跡』(いずれも音楽の友社)『ロンドン音楽紀行』(神戸新聞社)、『さらばヘーゲル』(日本経済評論社)など多数。また、画家としても大阪、神戸で毎年個展を開催。神戸芸術文化協会会員。神戸モーツァルトクラブ会長。神戸商船大学(現神戸大学海事科学部)名誉教授。



[ピアノ] 島崎央子(しまざきひろこ)

神戸女学院大学音楽学部音楽科器楽専攻ピアノで学ぶ。1992年、同学部を首席で卒業。山上明美、ゲイリー・スマイルの各氏に師事。ハンナ・ギュリック・スエヒロ賞を受賞。第62回東京読売新人演奏会に出演。神戸女学院大学オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団と協演。2004年より稲庭達氏と演奏活動を続けるほか、ソロ演奏でも活躍する。2010年8月にはベートーヴェン・ピアノ四大ソナタを一日で連続演奏し、絶賛を博す。また、六甲男声合唱団ほか伴奏ピアニストも務めている。

# 第6回 旧三商大OB男声合唱団

## 交 歓 演 奏 会

マーキュリー・グリー・クラブ（一橋大学OB合唱団）

### MGC編曲委嘱作品「カンツォーネの名曲」より

指揮：永井 宏      ピアノ：中野 マリ

- |             |                                               |
|-------------|-----------------------------------------------|
| 1 帰れソレントへ   | 作詞：G・デ・クルティス 作曲：E・デ・クルティス 編曲：蒔田尚昊             |
| 2 彼女に告げて    | 作詞・作曲：ロドルフォ・ファヴロ 編曲：蒔田尚昊                      |
| 3 オ・ソレ・ミオ   | 作詞：ジョヴァンニ・カプロ 作曲：E・ディ・カプア 編曲：蒔田尚昊             |
| 4 カタリ・カタリ   | 作詞：リッカルド・コルディフェロ 作曲：サルヴァトオレ・カルディッコ<br>編曲：蒔田尚昊 |
| 5 フニクリ・フニクラ | 作詞：ペッピーノ・トルコ 作曲：ルイージ・デンツァ 編曲：吉岡弘行             |

南漣会合唱団・東京南漣会合唱団（大阪市立大学OB合唱団）

### 男声合唱組曲「二度とない人生だから」

作詞：坂村 真民 作曲：鈴木 憲夫

指揮：山田 稔      ピアノ：石幸 千照

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 念ずれば花ひらく | 5 からっぽ・サラリ   |
| 2 花・ねがい    | 6 こおろぎ       |
| 3 妻を歌う     | 7 二度とない人生だから |
| 4 つゆのごとくに  |              |

六甲男声合唱団・東京六甲男声合唱団（神戸大学OB合唱団）

### レクイエム 二短調

作曲：ルイジ・ケルビーニ

指揮：井上 和雄      キーボード：島崎 央子

- 1 第一曲 Introitus et Kyrie
- 2 第五曲 Sanctus
- 3 第七曲 Agnus Dei

合同演奏

### ワーグナー楽劇のなかの合唱曲より

指揮：井上 和雄      ピアノ：島崎 央子

- 1 “タンホイザー”より「巡礼の合唱」
- 2 “さまよえるオランダ人”より「水夫の合唱」

日 時：2013. 11. 30 日 開場 午後1時30分 開演 午後2時

場 所：神戸文化ホール・大ホール（地下鉄西神山手線 大倉山駅下車スグ）

入場料：1,000円

主 催：六甲男声合唱団（連絡先：075-491-8003 堀内丈義）